

2013年3月期 連結業績補足／第4四半期概要

執行役員／経理部長
桃塚 高和

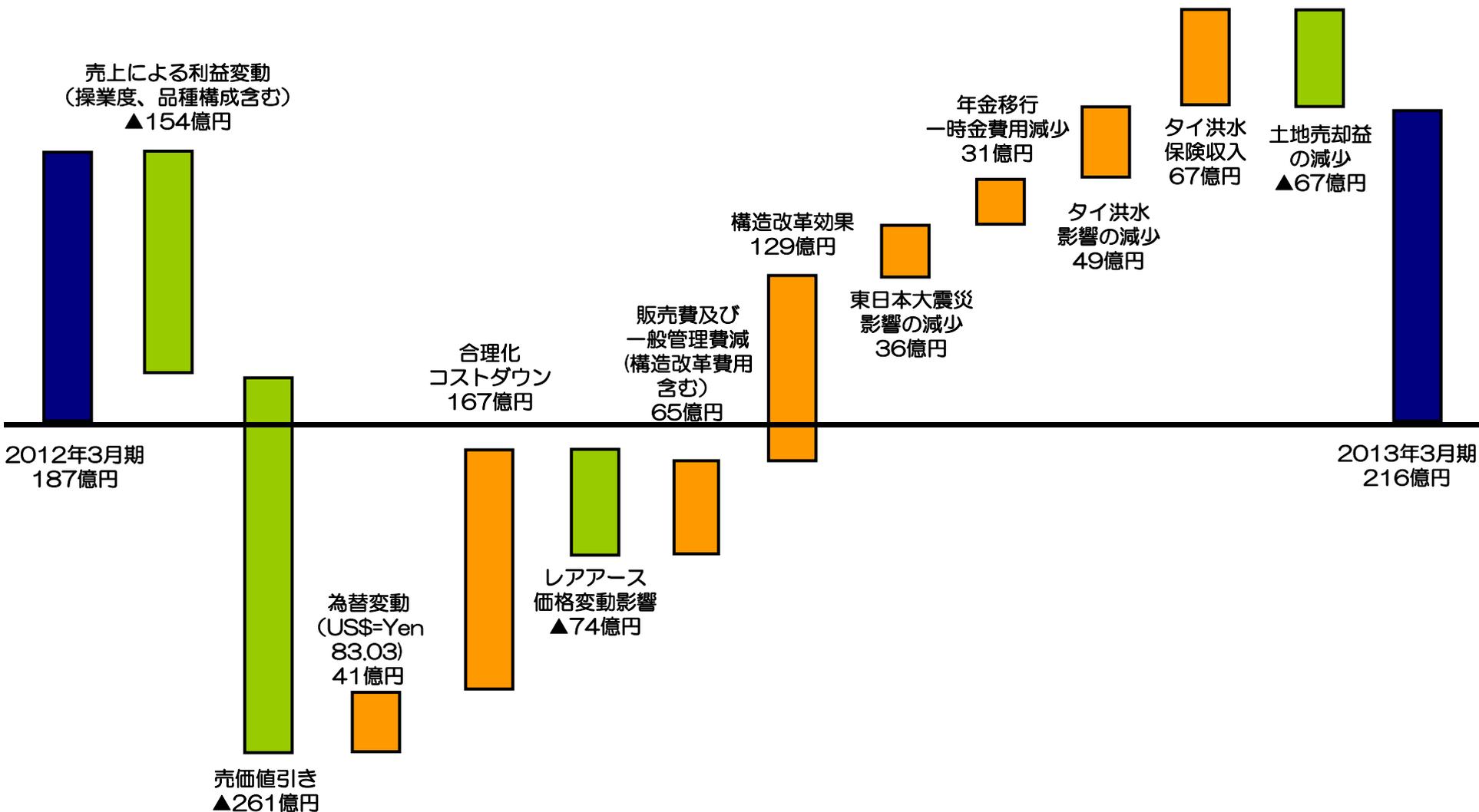
(億円)		2012年3月期 通期実績		2013年3月期 通期実績		対前年同期比	
		金額	%	金額	%	増減	増減率 (%)
売上高	コンデンサ	1,324	16.3	1,180	13.9	△144	△ 10.9
	インダクティブデバイス	1,212	14.9	1,196	14.0	△16	△ 1.3
	その他受動部品	1,280	15.7	1,421	16.7	140	11.0
	受動部品合計	3,816	46.9	3,796	44.6	△20	△ 0.5
	記録デバイス	2,087	25.6	2,335	27.4	248	11.9
	その他磁気応用製品	1,077	13.2	1,044	12.3	△33	△ 3.0
	磁気応用製品合計	3,164	38.8	3,379	39.7	215	6.8
	フィルム応用製品合計	927	11.4	1,126	13.2	199	21.5
	その他	238	2.9	214	2.5	△24	△ 10.1
	合計	8,145	100.0	8,516	100.0	371	4.6
営業利益	受動部品	△66	△ 1.7	△111	△ 2.9	△44	-
	磁気応用製品	390	12.3	371	11.0	△19	△ 5.0
	フィルム応用製品	63	6.7	124	11.0	62	98.5
	その他	△48	△ 20.3	△18	△ 8.3	31	-
	小計	338	4.2	367	4.3	28	8.4
	全社および消去	△151		△150		1	
	合計	187	2.3	216	2.5	30	15.8

営業利益増減分析

2012年3月期
187億円

営業利益 +30億円

2013年3月期
216億円



(億円)	2012年3月末	2013年3月末	増減
総資産	10,728	11,696	968
負債合計	5,608	5,890	282
株主資本	4,982	5,612	630
(うち包括利益)	△ 2,308	△ 1,590	718
株主資本比率	46.4%	48.0%	1.6pt
現預金・短期投資残高	1,734	2,235	501
有利子負債	2,728	2,956	228
ネットキャッシュ	△ 994	△ 721	273

セグメント情報 四半期比較



(億円)		2012年3月期 第4四半期 (2012.1.1~2012.3.31) (A)	2013年3月期 第3四半期 (2012.10.1~2012.12.31) (B)	2013年3月期 第4四半期 (2013.1.1~2013.3.31) (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
		増減	増減率(%)	増減	増減率(%)			
売上高	コンデンサ	316	266	307	△ 9	-2.8	41	15.4
	インダクティブデバイス	284	306	312	28	9.9	6	2.0
	その他受動部品	305	360	425	120	39.3	65	18.1
	受動部品合計	905	931	1,044	139	15.4	113	12.1
	記録デバイス	582	602	576	△ 6	-1.0	△ 26	-4.3
	その他磁気応用製品	297	240	245	△ 52	-17.5	5	2.1
	磁気応用製品合計	878	842	821	△ 57	-6.5	△ 21	-2.5
	フィルム応用製品合計	242	330	286	44	18.2	△ 44	-13.3
	その他	46	50	54	8	17.4	4	8.0
	合計	2,070	2,154	2,205	135	6.5	51	2.4
営業利益	受動部品	△ 132	△ 18	△ 39	93	-	△ 21	-
	磁気応用製品	140	75	18	△ 122	-87.1	△ 57	-76.0
	フィルム応用製品	△ 5	36	17	22	-	△ 19	-52.8
	その他	△ 26	△ 6	△ 3	23	-	3	-
	小計	△ 23	88	△ 8	15	-	△ 96	-
	全社および消去	△ 9	△ 37	△ 30	△ 21	-	7	-
	合計	△ 32	51	△ 38	△ 6	-	△ 89	-
	営業利益率	-1.5%	2.4%	-1.7%	-0.2pt	-	-4.1pt	-
為替	対ドルレート	79円27銭	81円17銭	92円20銭				
	対ユーロレート	103円94銭	105円28銭	121円74銭				

セグメント 区分	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期予想 (対前年比)	主な要因・予想の前提
受動部品	3,796	+15~+20%	情報通信機器市場向け高周波部品、インダクティブデバイス、回路保護部品の増加 アルミ・フィルムコンデンサは産業機器向けに緩やかに回復 自動車市場向けは安定的に増加傾向
磁気応用製品	3,379	-2~0%	主にHDD市場の成熟化の影響
フィルム 応用製品	1,126	+15~+20%	情報通信機器市場向け二次電池及び機能性フィルム（ITOフィルム）の販売増加
その他	214	-	
合計	8,516	9,300	

為替レート \$/Yen 83.03
 為替レート EURO/Yen 107.05

為替前提

90.00
 118.00

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2013/4q_1.htm